

1. 調査概要

(1) 目的

新たな「帯広市産業振興ビジョン」策定に向け、本市の産業経済の実態を把握し、今後、具体的な施策等を検討するための基礎資料とすることを目的に実施。

(2) 概要

平成28年経済センサス活動調査を基に、帯広市内の3,000事業所を無作為に抽出し、アンケート調査を実施。併せて、アンケート調査に回答があった企業を中心に、回答内容の背景や理由などを深掘りすることにより、地域経済の実情や課題等を明らかにするため、ヒアリング調査を実施。

(3) 内容

①アンケート調査（回収数：816件）

【表1.アンケート調査送付・回収数】

| 業種 | 送付数 | 回収数 | 回収率 |
|-----------|--------|------|-------|
| 建設 | 846件 | 253件 | 29.9% |
| 製造 | 327件 | 135件 | 41.3% |
| 卸・小売・サービス | 1,827件 | 427件 | 23.4% |
| 分類不明 | — | 1件 | — |
| 計 | 3,000件 | 816件 | 27.2% |

②ヒアリング調査（回収数：215件）

【表2.アンケート回答者の属性】

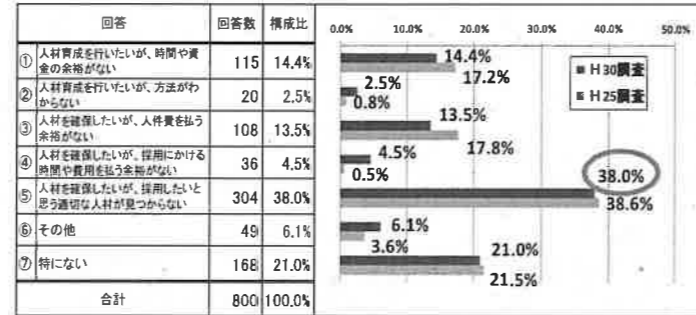
| 業種 | 小企業 | 中企業 | 大企業 | 計 |
|-----------|------|------|-----|------|
| 建設 | 187件 | 61件 | 6件 | 254件 |
| 製造 | 102件 | 34件 | 6件 | 142件 |
| 卸・小売・サービス | 225件 | 156件 | 38件 | 419件 |
| 分類不明 | — | — | — | 1件 |
| 計 | 514件 | 251件 | 50件 | 816件 |

2. 結果概要

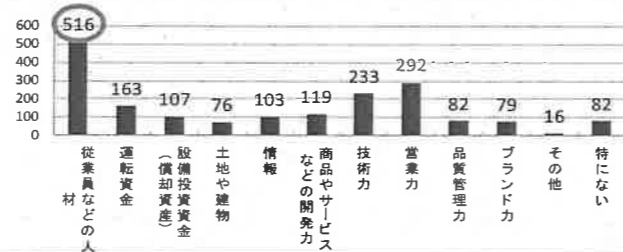
(1) 人材について（本編P4～、資料編P30～）

- 人材の確保・育成の課題に関しては、「人材を確保したいが、採用したいと思う適切な人材が見つからない」が最も多い（38.0%、図1）。
- この傾向は特に建設関連において顕著（44.8%）
- 課題となっている経営資源に関しては「従業員などの人材」が最も多い（516件、図2）。
- 規模、業種を問わず、従業員などの人材が課題となっている状況。
- 人材不足の将来的な取組みに関しては、「内部環境の改善（経営、給与、福利厚生等の見直し）による人材確保」が最多（311件）となっており、続いて、「女性活躍の推進」（265件）、「採用活動や募集方法、自社PR等の見直しによる人材確保」（256件）、「高齢者（65歳以上）の積極的な採用」（242件）となっている。

【図1.人材の確保・育成に関する課題（問5）】



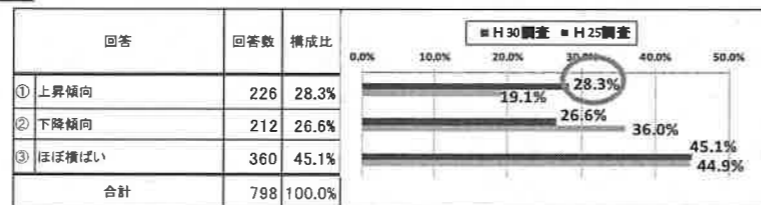
【図2.課題となっている経営資源（問18）】



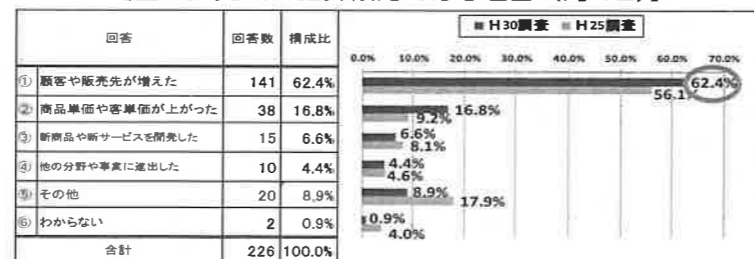
(2) 経営状況について（本編P11～、資料編P40～）

- 過去5年間の売上の動向について質問したところ、「上昇傾向」が28.3%、「下降傾向」26.6%、「ほぼ横ばい」が45.1%であった（図3）
- 規模別に見ると、「上昇傾向」の割合は規模が大きくなるほど大きくなっている状況（小企業 19.5%、中企業 42.3%、大企業 50.0%）。
- 過去5年間の売上の動向について平成25年度調査と比較すると、「上昇傾向」が9.2ポイント増加し、「下降傾向」が9.4ポイント減少した。
- 上昇傾向の理由については、「顧客や販売先が増えた」が最多（62.4%、図4）で、下降傾向の理由については、「顧客や販売先が減った」が最多（56.1%）となった。

【図3.過去5年間の売上の動向（問11）】



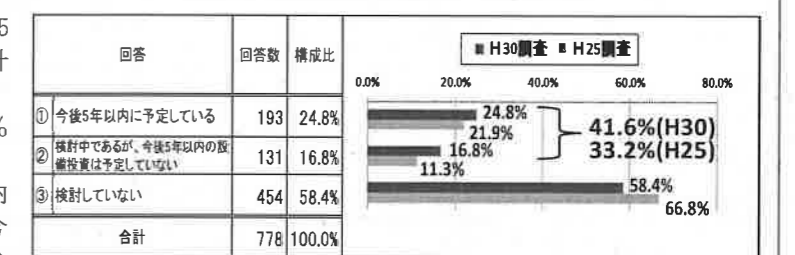
【図4.売上が上昇傾向である理由（問12）】



(3) 経営上の課題と今後の事業計画について（本編P15～、資料編P48～）

- 設備投資の意向については、「検討していない」が最多（58.4%）となり、「今後5年以内に予定している」および「検討中であるが、今後5年以内の設備投資は予定していない」の合計は、41.6%であった。（図5）
- 特に中企業では55.5%、製造関連では51.9%と、設備投資の意向が比較的強く見られる。
- 平成25年度調査と比較すると、「今後5年以内に予定している」および「検討中であるが、今後5年以内の設備投資は予定していない」の合計値は、8.4ポイント増加した。

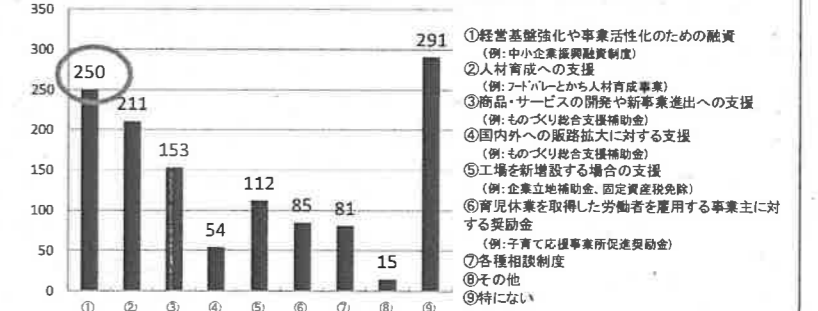
【図5.設備投資の意向（問21）】



(4) 支援策について（本編P22～、資料編P57～）

- 利用してみたい支援制度については、「特になし」を除き、「経営基盤強化や事業活性化のための融資」が最多（250件、図6）。
- 製造関連では、「工場を新増設する場合の支援」（40件）が多くなっている。
- 帯広市の支援制度について感じることは、「どのような支援制度があるかわからない」が最多（373件）で、「利用したことがないのでわからない」（366件）が続いて多くなっている。

【図6.利用してみたい支援制度（問27）】



(5) フードパレーとかちについて（本編P26～、資料編P61～）

- 食に関する新たな取組みの意向については、「すでに取組んでいる」および「思う」の合計が33.2%、「思わない」が66.8%となっている（図7）。
- 参考として、平成25年度調査と比較すると、食に関する取組みの意向（「すでに取組んでいる」も含む。）は4.6ポイント増加した。
- 関心ある取組み内容としては、「新たな商品やサービスの開発」が最多（74件）となっている。

【図7.食に関する取組みの意向（問30）】

